TOEIC Bridge S&W 参考情報

toeic bridge®

TOEIC Bridge®
Speaking & Writing Tests

Contents

Ⅰ 全国データ
全国の受験者のスコアデータです。ご自身のスコアと比較することで英語力の現在地の確認等にお役立てください。

Ⅱ 関連情報
TOEIC® Programに関連する情報です。

Ⅲ Can Doガイド
スコア帯別の「できる（Can Do）こと」の一覧です。ご自身のスコアから推定される具体的な「できる（Can Do）こと」の把握等にお役立てください。

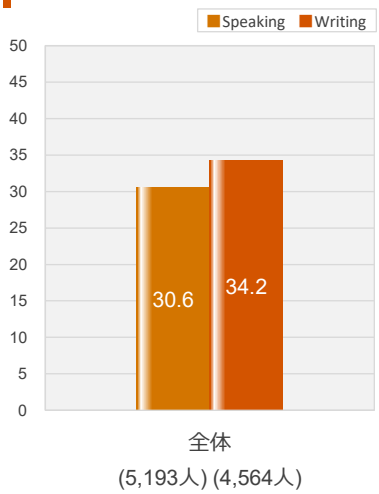
Ⅰ 全国データ

ご自身のスコアと比較することで英語力の現在地の確認等にお役立てください

TOEIC Bridge® Speaking & Writing Tests（以下、TOEIC Bridge S&W）に関する全国の受験者のスコアデータです。
【2025年度（2025年4月～2026年3月）】のデータに基づいて作成しています。

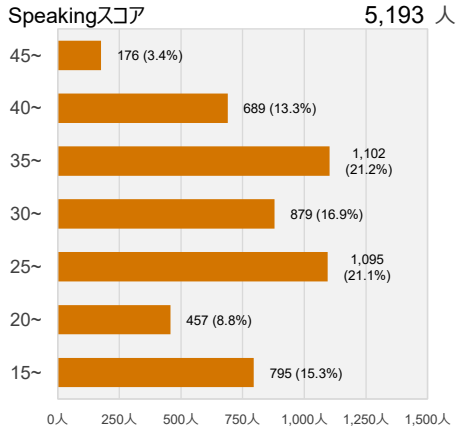
IPテスト 全体データ

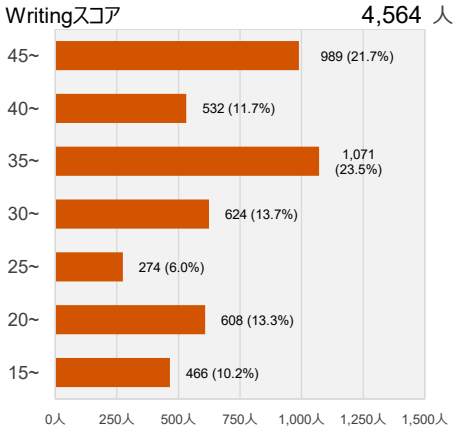
受験者数と平均スコア



全体
(5,193人) (4,564人)

スコア分布





Ⅱ 関連情報

TOEIC Bridge S&Wのスコアと CEFRレベルとの比較表

下記比較表は、TOEIC Bridge S&Wのスコアと CEFRの各レベルの関係について、TOEIC® Programの開発元であるETSが行った分析の結果になります。
CEFRのA1～C2までの6段階の言語力レベルのうち、TOEIC Bridge® Testsでは、おおよそA1～B1程度の英語力を測定できます。
ご自身のスコアから推定されるCEFRレベルをご確認ください。

TOEIC Bridge® Speaking & Writing Tests		CEFR Level		
		Basic User		Independent User
Speaking / Writing	Score Range	A1	A2	B1
Speaking	15 ～ 50	23 ～	37 ～	43 ～
Writing	15 ～ 50	20 ～	32 ～	43 ～

Ⅲ Can Doガイド

ご自身のスコアから推定される具体的な「できる（Can Do）こと」の把握等にお役立てください

本Can Doガイドは、TOEIC Bridge S&Wの受験者を対象に行った、英語を使ってできることに関するアンケート調査の結果をまとめたものです。
ご自身が該当するスコアレンジにおける●がついた項目が、英語を使って「できる（Can Do）こと」の目安になります。
なお、本Can Doガイドでは、スコア帯別の●**「できる (Can Do)」**項目に加えて、▲**「困難を伴うができる (Can Do with Difficulty)」**項目や
今後の学習課題となる■**「できない (Cannot Do)」**項目についてもご確認いただくことができます。

TOEIC Bridge Speaking Can Doガイド

スコアレンジとCan Do項目 ●「できる (Can Do)」 ▲「困難を伴うができる (Can Do with Difficulty)」 ■「できない (Cannot Do)」	Speakingスコアレンジ			
	15～22	23～36	37～42	43～50
自分にとって身近なテーマについて、7分程度の詳細なプレゼンテーションができる	■	■	■	▲
問題となっている事案の捉え方について、いくつかの事例を交えながら利点と不利な点を説明することができる	■	■	■	▲
少人数のディスカッションや会議で他の人の意見に同意したり反論したり意見を言うことができる	■	■	■	▲
日常の業務や人付き合いをこなしていく上での会話を容易に自信を持って行うことができる	■	■	■	▲
物語を語ったり、本や映画のあらすじを順序立てて話したり、それに対する自分の考えを述べることができる	■	■	■	▲
社交の場で簡単な単語やフレーズを流暢にかつ正確に使うことができる	■	■	■	▲
自分の感情や反応も加えながら、自分の経験を詳細に述べることができる	■	■	■	▲
意見や考えを伝え、その理由を示すことができる	■	■	▲	▲
通常自分で会話を進められるほどの理解がない話題でも、非常に短い社交的なやり取りができる	■	■	▲	▲
日常の中で起きたちょっとした出来事について、順序立てて話すことができる	■	■	▲	▲
親しい知人と電話で短い会話をすることができる	■	■	▲	▲
親しい知人に対して簡単な日課の指示や説明をすることができる	■	■	▲	▲
人や物、場所、活動を描写・説明することができる	■	▲	▲	▲
ある事柄について、自分はどういった点が好きか（あるいは嫌いか）を述べることができる	■	▲	▲	▲
日常生活に関する身近な話題について、質問したり何かを伝えたりすることができる	■	▲	▲	▲
簡単なお願いや申し出、提案をすることができる	■	▲	▲	▲
日常生活に関連した簡単な情報を得るためにいろいろな質問をすることができる（道順、物の値段、サービス等）	■	▲	▲	●
自分が住んでいる場所や知人について簡単なフレーズや文章で説明することができる	■	▲	▲	●
英語能力や経験値等に配慮してくれる親しい知人に対しては、自分から短い会話を切り出すことができる	■	▲	▲	●
身近な話題に関する短くて簡単なプレゼンテーションを、練習した上で行うことができる	■	▲	▲	●
簡単な道順を教えることができる	■	▲	▲	●
自分の考えを主張する短い声明文を、練習した上で読み上げることができる	▲	▲	●	●
英語能力や経験値等に配慮した聞き手からの、自分に関する簡単な質問（氏名や出身地等）に答えることができる	▲	▲	●	●
社交の場で簡単な定番の質問をすることができる－"How are you?" (お元気ですか)、"Where are you from?" (ご出身はどちらですか)、"What do you do for fun?" (趣味は何ですか）等	▲	▲	●	●

TOEIC Bridge Writing Can Doガイド

スコアレンジとCan Do項目 ●「できる (Can Do)」 ▲「困難を伴うができる (Can Do with Difficulty)」 ■「できない (Cannot Do)」	Writingスコアレンジ			
	15〜19	20〜31	32〜42	43〜50
情報を伝えたり、ある特定の意見に対する賛成や反対の理由を示しながら、短いエッセイやレポートを書くことができる	■	■	■	▲
身近な話題について、自身の主張とそう思う根拠をある程度詳しく1-2パラグラフで書くことができる	■	■	■	▲
日課の流れを説明するまとまった文章を書くことができる	■	■	■	▲
仕事や学校で経験したことについての文章や簡単な要約文を書くことができる	■	■	▲	▲
意見や考えを伝え、その理由を示すことができる	■	■	▲	▲
使える語彙は限定的であっても、自分が経験したことや感じたこと、出来事についてウェブ投稿をしたり、他人からのコメントに対しある程度詳しく返答することができる	■	■	▲	▲
身近な話題に対して、意見を述べたり質問を行う文章を書くことができる	■	■	▲	▲
簡単な出来事について順序立てて書くことができる	■	■	▲	▲
情報を求めるための簡単なEメールや手紙を書くことができる	■	■	▲	▲
日常生活に関する身近な話題について、質問したり何かを伝えたりすることができる	■	■	▲	▲
ウェブ上の簡単なコミュニケーション（やり取り）に参加できる（ウェブ上のグリーティングカードに簡単なメッセージを書く、ニュースを共有する、人と会う約束をしたりその内容の確認をする、等）	■	▲	▲	▲
人や物、場所、活動を描写・説明することができる	■	▲	▲	▲
短く簡単な文章を書いて、個人の好みや日課、出来事、その他の個人的話題等についての情報を求めることができる	■	▲	▲	▲
出来事や過去の活動、個人的な経験についてごく短く簡単に説明する文章を書くことができる	■	▲	▲	▲
自分の個人情報や身近な情報、15-20問ほどの簡単な質問への回答といったことを所定の書類に記入できる	■	▲	▲	▲
身近な話題について簡単な文章を書くことができる	■	▲	▲	▲
簡単なお願いや申し出、提案をすることができる	■	▲	▲	▲
個人で使用する、あるいは業務で必要となる数字、文字、語句、短いフレーズや文章といったものを、一覧表や短い文書といった他の資料から引用することができる	■	▲	▲	▲
身近な人を描写する3－5文程度の文章を書くことができる	■	▲	▲	▲
基本的な定番の表現や顔文字を使ってウェブ上に簡単なあいさつを投稿することができる	■	▲	▲	▲
簡単で少量（長くてまとまってはいない）のフレーズや文章を書くことができる	■	▲	▲	●
「and（そして）」、「but（しかし）」、「because（なぜなら）」などの簡単な接続詞でつなげた簡単なフレーズや文章を書くことができる	■	▲	▲	●
自分の趣味や好きなこと、苦手なこと等を翻訳ツールの助けを借りながら、ごく簡単なメッセージやウェブ上に投稿する短い文章を続けて書くことができる	▲	▲	▲	●
語句、簡単なフレーズや短文を使って自分のことを書くことができる（氏名、年齢、住所、出身地等）	▲	▲	▲	●

IIBC あなたが世界をつなぐ あなたと世界をつなぐ
一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会
The Institute for International Business Communication

ETS, the ETS logo, PROPELL, TOEIC and TOEIC BRIDGE are registered trademarks of ETS, Princeton, New Jersey, USA, and used in Japan under license. Portions are copyrighted by ETS and used with permission.